

平成26年度 東小学校区きずなづくりトーク トークまとめ

5月20日(火)に開催された「東小学校区きずなづくりトーク」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。トークのまとめができましたので、送付いたします。

なお、東小校区では、【防災訓練】【子どもの健全育成】【高齢者の見守り】の3つの分野について、意見交換や情報共有が行われました。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)



皆さん、ご参加ありがとうございました。

【当日参加団体一覧】

団体名		
大社町自治会	スポーツ推進委員会	まどろみ会
東本町1丁目自治会	体育振興会	東幼稚園
東本町2丁目自治会	民生委員・児童委員	南中学校
日の出町自治会	加茂川町保育園	子ども会連合会
東町自治会	大社町きずなの会	地域包括支援センター
南二丁目自治会	東本町友和会	地域づくりコーディネーター
大宮町2丁目自治会	日の出会	川原ヶ谷子ども会
川原ヶ谷自治会	東町寿会	
雪沢自治会	コスモスの会	

※当日参加者 34 名

アンケート：分野ごと最も話し合いたいテーマについて、参加者の希望を伺いました。



【会場アンケート結果】

	検討テーマ
防災訓練	①地域で活躍する中学生を育てていくには?..... 4人 ②日ごろの防災意識向上や防災対策のアイデアを考えよう!..... 16人 ③高齢者や幼い子どものいる家庭の訓練参加を考えよう!..... 3人 ④誰もが参加しやすい魅力的な訓練とは?..... 10人
子どもの健全育成	①子ども会のあり方を町全体で考えよう!..... 12人 ②あいさつが自然にできる地域を目指そう!..... 16人 ③中高生が行事に参加しやすい環境を整えるには?..... 6人
高齢者の見守り	①地域全体で高齢者を見守るには?..... 22人 ②老人会のあり方を町全体で考えてみよう!..... 11人

下記のテーマにもとづいて発言された内容について、現状・課題を「今まで」、課題解決につながる取り組み・アイデアを「これから」に分類まとめました。（○：参加者発言 ●：市長発言）

【防災訓練】

今まで	これから
テーマ① 地域で活躍する中学生を育てていくには？	
<p>○昨年の日の出町の訓練では、参加証明書を 15 人ほど書いた。事前の宣伝が良かったのか、学校の協力があったのか原因は不明だが、中学生の参加が多かった。</p> <p>○中学生になった途端に子ども会もしゃぎり会も抜けてしまい、地域と中学生の結びつきがない。</p>	<p>○訓練に中学生がたくさん参加することは結果。日常的な地域との関わりを中学生レベルでどうするかが大事だと思う。</p> <p>○しゃぎり保存会の会長と「中学生になってもしゃぎり続ける」など、少子化のことも含め対策を話し合った。</p>
テーマ② 日ごろの防災意識向上や防災対策のアイデアを考えよう！	
<p>○防災委員と町内を回ったが、町内を把握できて良かった。</p> <p>●市内に救急車は4台しかないなので、隣近所での救助・搬送が必要。自宅の耐震化、自主防災活動を活発化してほしい。</p>	<p>○東本町1丁目自治会では、3～5年の任期を設けた「選任防災委員」を作った。町内のことがよくわかり、コミュニケーションが取れる</p> <p>○町内を見て回るシステムを取り入れるといいのではないかと思う。</p>
テーマ③ 高齢者や幼い子どものいる家庭の訓練参加を考えよう！	
<p>※時間の都合により割愛</p>	
テーマ④ 誰もが参加しやすい魅力的な訓練とは？	
<p>○マンネリ化している。</p> <p>○だいたい来る方は毎年同じ人。</p> <p>○皆が参加したくなるようなアイデアがない。何度も行う防災機器の点検などに、人が集まる工夫が知りたい。</p> <p>○登下校や1人で家にいた時等、様々な状況で災害は発生する。様々な状況を想定した訓練に参加できる環境でないといけなさと感じる。</p>	<p>○防災講座で行った賞味期限の近い備蓄品の「試食会」が好評だった。</p> <p>○東小 PTA では昨年、「イザカエルキャラバン」を実施。子どもが中心なので訓練としては幼稚な部分もあるが、300～400 人の子どもと保護者が参加した。</p> <p>○「イザカエルキャラバン」の計画段階で、町内を超え年配者に昔の遊びを教えてほしいという意見もあった。お祭りのようにして、皆が触れ合う機会にすれば楽しいのではないかと思う。</p> <p>○子どもは訓練に参加することで防災意識が育ち、保護者も訓練に関わることができる。高齢者との触れ合いも交えていくと、面白いイベントになると思う。</p>

【子どもの健全育成】

今まで	これから
テーマ① 子ども会のあり方を町全体で考えてみよう！	
<p>○子ども会入会者が激減している。入っても1年でやめてしまう。役員が大変で敬遠されている。いつまで子ども会が存続できるのかと役員で話合っている。</p> <p>○子ども会が存続できるような知恵はないか。</p> <p>●小学生は市内 6,000 人強いるが、子ども会加入者は 2,000 人程度。</p>	<p>○東本町 1 丁目では、老人会と自治会が色々な行事で子ども会を応援している。例えば夏休みのラジオ体操。子ども会役員が不在でも、子どもが来れば面倒をみる。</p> <p>○子ども会役員を助けてあげるような活動を始めれば、何かいいアイデアが出てくると思う。</p> <p>●町内会で健全育成会をつくり、子ども達の面倒をみている地区もある。</p> <p>●三島市 PTA 連絡協議会の委員会で、子ども会活動を支援してほしいとお願いしておいた。子ども会から PTA へお願いしていくことも大事。</p>
テーマ② あいさつが自然にできる地域を目指そう！	
<p>○まどろみ会では、「県が推進しているあいさつ運動を率先してやろう」ということで、今年 3 月からクラブ会員の半数 36 名が登下校時に家の前に立ち、子どもや年配者に声かけをしている。</p> <p>○小学校正門前に 5 人ほど立って、朝の交通整理を行っている。ふだん道で会っても声をかけてくれる。</p> <p>○中学校正門前で毎朝、保護者や教員等であいさつをしている。継続してきたこともあり、かなりの子があいさつをするようになってきている。</p> <p>○スクールガードでは、学校近隣の町内の皆さんに曜日だけ決めて、自由に自分の意志でやってもらっている。</p> <p>○大勢だと元気がいいが、1 人だと声をかけても困った様子の子がいる。</p>	<p>○慣れてきたら子ども達からあいさつや声かけがあり、皆喜んでいて。バッジを頂いているので、賛同者にお分けしたい。</p> <p>○あいさつを継続すれば、子どもも大人もあいさつすると思う。</p> <p>○時間と場所を決めて行えば、不審者と思われることもなく、あいさつの習慣がお互いにできてくると思う。</p> <p>○スクールガードの顔写真が学校に貼り出されているので、子ども達は顔がわかっていると思う。もう少し大きい組織にしていきたい。</p> <p>○ラジオ体操はあいさつ運動にもつながっている。朝子どもたちに会うと「体操のおじさん」と顔を覚えてくれていて、あいさつをしてくれる。人の集まる場にいろいろな人が参加してくれれば、自然と交流ができてくる。</p>
テーマ③ 中高生が行事に参加しやすい環境を整えるには？	
<p>※時間の都合により割愛</p>	

【高齢者の見守り】

今まで	これから
テーマ① 地域全体で高齢者を見守るには？	
<ul style="list-style-type: none"> ○組 13 軒のうち、4 軒が一人暮らし。組を抜けた世帯もあり、状況が分からなくなる。 ○民生委員 1 人で 200 名ほど受け持つので、全員把握は無理がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の見守りは、地域、組、向う三軒両隣が主体になる。組単位の見守りを推進する方法を考えるのが一番ではないか。 ○見守りを進めるには、外に出てくる場(サロン等)を作ることが必要。地域包括支援センターでは支援を行っている。声をあげてほしい。 ○サロンを作りたいが場所がないとよく聞く。自治会と相談しながら活動していけば、活発に集まる場所ができると思う。 ●いくつかの町内では、コミュニティカフェをやり始めている。補助金も出るので活用してほしい。
テーマ② 老人会のあり方を町全体で考えてみよう！	
※時間の都合により割愛	

今後の地域活動の参考にしてください！